

日本応用心理学会 第92回大会プログラム



The 92th Annual Convention of
Japan Association of
Applied Psychology

2026年
9月12日(土)～13日(日)

日本応用心理学会第 92 回大会 開催のご挨拶

日本応用心理学会第 92 回大会は、9 月 12 日(土)・13 日(日)に熊本市北区の熊本保健科学大学で初めて開催いたします。熊本保健科学大学は、1959(昭和 34)年の化血研衛生検査技師養成所の設立を起点に熊本医学技術専門学校、銀杏学園短期大学を経て、2003(平成 15)年に開学した保健医療に特化した大学で、保健科学部には、医学検査学科、看護学科、リハビリテーション学科(理学療法学専攻・作業療法学専攻・言語聴覚学専攻)を設置しています。本学は熊本市北部の田園地帯に位置しておりますが、熊本駅からは 3 駅(西里駅:約 10 分)とアクセスも良好です。熊本県には、阿蘇山や黒川温泉など魅力的な観光地が数多くございます。熊本地震から 10 年を迎えましたが、復興の歩みは続いております。ぜひ観光も含め、熊本ならではの魅力に触れながら、心豊かなひとときをお過ごしいただければ幸いです。

第 92 回大会のテーマは「不易流行の応用心理学」です。変化の激しい社会において、応用心理学の視点から“変わらない本質”と“時代に応じた変化”についてシンポジウムなどで議論を深めていければと考えております。一般研究発表はポスター発表のみとし、学部生による教育発表や自主企画ワークショップも募集いたします。残暑の時期ではありますが、熊本の食や観光を楽しみながら、心地よい時間を過ごしていただけるよう準備を進めております。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

日本応用心理学会第 92 回大会実行委員長

多久島寛孝(熊本保健科学大学)

交通アクセス

■公共交通機関ご利用の場合

大学までの所要時間(目安)

起点→大学	JR 利用	路線バス利用	自家用車
JR 上熊本駅から	約5分	約15分	約10分
JR 熊本駅から	約10分	—	約25分
桜町バスターミナルから	—	約25分	約20分
熊本空港から		(リムジンバスで交通センターまで約45分)	約60分

乗り継ぎ・経路

1. JR 熊本駅から

鹿児島本線 西里駅前

2. 桜町バスターミナルから

20 番のりば、「万楽寺行き(U2-2)」経由のバスに乗車。「西里駅前」下車、バス停より徒歩4分。

- ・ 駅構内の跨線橋をご利用いただくと便利です。
- ・ 運行時刻を御確認ください。

産交バス総合案内 URL

<https://transfer.navitime.biz/sankobus/pc/map/Top>

3. 熊本空港から

(A) 空港リムジンバス熊本駅方面行きに乗車。「熊本駅前」下車、JR 熊本駅より鹿児島本線上り列車に乗車(上記 1 参照)。

(B) 空港リムジンバス熊本駅方面行きに乗車。「桜町バスターミナル」下車、20 番のりば「万楽寺行き(U2-2)」経由のバスに乗車(上記 2 参照)

大会参加者へのご案内

【大会参加者へのご案内】

【1】大会受付

日時： 2026 年 9 月 12 日(土) 9:00 ～ 18:00

2026 年 9 月 13 日(日) 9:00 ～ 16:30

場所： 3号館1階 50周年記念館前

【参加証】

大会期間中、会場内では参加証をご着用ください。

【名誉会員の方】

名誉会員の方は、3号館受付にお立ち寄りください。名誉会員の方は、大会参加費、発表費、研修会費、懇親会費はすべて無料です。また、大会参加時に発表論文集を 1 冊贈呈致しますのでお受け取りください。

【事前予約の方】

事前予約をされている方は、3号館 1F受付の「事前予約参加者受付」にお立ち寄りください。参加証と領収証と名札入れをお渡しします。発表者(連名発表者を含む)、ワークショップの発表者・企画者、論文集購入者には、論文集をお渡し致します。非会員の連名発表者の参加証・領収証と発表論文集は、責任発表者の方にまとめてお渡しします。

【当日参加の方】

当日参加の方は、3号館 1F受付の「当日参加受付」にお立ち寄りください。当日参加の方は、参加申込票に必要事項をご記入のうえ、大会参加費を添えて「当日参加受付」にお申し込みください。名札入れ、参加証および領収書をお渡し致します。

大会関係の諸費用(当日納入)について

	会員		非会員	
大会参加費	一般会員・終身会員	7,000 円	一般	8,000 円
	院生会員	3,000 円	大学院生	3,000 円
	学生会員	2,000 円	学部学生	2,000 円
研修会費		1,000 円		1,500 円
論文集代	個人	6,000 円		6,000 円
	機関	8,000 円		8,000 円
懇親会費	一般会員・終身会員	6,000 円	一般会員・同伴者	6,000 円
	院生会員・学生会員	3,000 円	大学院生	4,000 円
	名誉会員	招待	学部学生(教育発表含)	4,000 円

【クローク】

3号館 1階 3102 講義室 S が、クロークとなっています。お荷物をお預かりする際に引換券をお渡しします。引換券をなくされた場合、確認のため身分証の提示をお願いすることがあります。なお、PC 等の高価な電子機器類を含む貴重品はお預かりすることはできません。

＊クローク受付期間：9 月 12 日（土）・13 日（日）9:00～17:00

【2】総会

日時：9 月 12 日（土） 11:20～12:50

場所：熊本保健科学大学 1号館 1300 講義室 L

重要な議題が予定されておりますので、会員の方はご出席ください。なお、総会では、昼食をご用意しております。

【3】懇親会

日時：9 月 12 日（土） 17:30～19:00

場所：1号館 レストラン ピリア

【4】優秀大会発表賞

本大会でも研究発表（ポスター発表）に対する優秀大会発表賞の選考があります。優秀大会発表賞に相応しいと思われる研究をこちら↓から推薦してください。

https://osakashakaishinri.qualtrics.com/jfe/form/SV_2gwEosSmKhCXcY6

お一人あたりの推薦件数は、各日 5 件以内、そのうち最も強く推薦したい 1 件を投票ください。

なお、【教育発表】は投票の対象外です。

有効投票期間は 9 月 12 日（土）の 9:00～14 日（月）の 18:00 ですので、この間にご推薦ください。大会会場では、投票用ページへリンクする二次元コードもご用意いたします。日本応用心理学会優秀大会発表賞規程は、こちら https://j-aap.jp/kitei/yushu_taikai.pdf よりご確認いただけます。非会員の方にも投票いただけますが、規程第 5 条により、学会員からの投票結果のみ 1 次選考に使用します。

【5】その他

(a) 3号館 1階 3110 講義室 M にて、企業展示を行っております。どうぞお立ち寄りください。

(b) 休憩所は 3号館 1階 3110 講義室 M です。お飲みもの、お菓子をご用意しております。

(c) 館内すべて禁煙です。

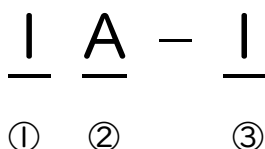
(d) 会場内では、携帯電話はマナーモードにしてください。

(e) 大会本部は 1号館 1202 講義室 S です。大会中の緊急連絡は、こちらにお願いいたします。

ポスター発表者へのご案内

1. 3号館 1階 3108 講義室 M、3109 講義室 M

■ポスター番号の見方



- | | | | |
|---|-------|----------|----------|
| ① | 大会開催日 | 1:12日(土) | 2:13日(日) |
| ② | 会場ID | A | B |
| ③ | 発表番号 | 奇数:前半発表 | 偶数:後半発表 |

- ポスター発表会場内にポスター発表用受付を設けます。セッション開始の10分前までに受付へお越しください。ボードに掲示するための養生テープもしくは画鋏と責任発表者用のリボンは、その際にお渡しします。
- ポスターを掲示するボードには、それぞれに発表番号が付いています。発表者は発表時間までに、持参したポスターをご自分の発表番号の付されたボードに掲示してください。ポスターの掲示範囲は、1発表につき横85cm×縦165cmです。この大きさに収まるよう作成してください。ポスター上部には発表題目、氏名および所属を明示して下さい。
- ポスターセッション全体の時間は90分です。演題番号が奇数の発表者はセッション前半の45分、偶数発表者はセッション後半の45分が在籍責任時間です。この時間中に係員が出欠の確認に伺います。
在籍責任時間が終わっても、セッション終了時刻まではポスターの掲示をしておいてください。ポスターの撤去は、発表者がセッション終了10分後までにおこなってください。
- ポスター発表は、論文集への論文掲載、当日のポスター掲示、および在席責任時間の質疑応答への参加によって、公式発表とみなされます。

なお、本大会の企画として「教育発表」を設けています。大学学部学生が発表を行います。

特別セミナー・ワークショップ企画者・発表者へのご案内

【企画者・発表者の方へ】

特別セミナーおよび自主企画ワークショップは、両日とも1号館 1301 講義室 L(特別セミナー)、1303 講義室 M、1304 講義室 M、1500 講義室 M(自主企画ワークショップ)で行います。特別セミナー1件の時間は90分、ワークショップ1件の時間は80分です。

- 大会委員会でプロジェクターとノート PC (Windows 11, PowerPoint 2024) を用意します。この PC をご利用の方は、開始10分前までに会場にお越しいただき、発表用ファイル

のインストール作業と動作確認をお願いいたします。必ず上記の環境で動作するファイルをご用意ください。PC によるスライド発表のみとなります。その他の映像提示装置は使用できません。ご自身の持ち込み PC を利用される場合も、セッション開始前までに動作の確認をお願いいたします。会場には HDMI ケーブルをご用意いたします。電源アダプタや変換コネクタ等をご自身でご用意下さい。

2. 音声接続をご利用の方は、事前に大会委員会へご相談下さい。
3. 資料を配布される方は、各自ご準備の上、開始前に会場のスタッフにお渡しください。会場入口に資料を配置します。なお、会場での印刷はできません。配布資料は必ず事前にご用意ください。』

応用心理士研修会のご案内

【講師の方へ】

応用心理士研修会は、Ⅰ号館 Ⅰ200 講義室 S で行います。

時間は 75 分間です。応用心理学会企画委員会の担当者が進行を担当しますので、講義中、ご不明の点などがあればご相談ください。

大会委員会でプロジェクターとノート PC (Windows 11, PowerPoint 2024) を用意します。この PC をご利用の方は、開始 10 分前までに会場にお越しいただき、発表用ファイルのインストール作業と動作確認をお願いいたします。必ず上記の環境で動作するファイルをご用意ください。PC によるスライド発表のみとなります。その他の映像提示装置は使用できません。

ご自身の持ち込み PC を利用される場合も、セッション開始前までに動作の確認をお願いいたします。会場には RGB のみ対応可能です。HDMI 端子をご利用でしたら、変換アダプタをご準備ください。会場備付 PC がありますので、USB メモリでファイルをご準備いただいても結構です。

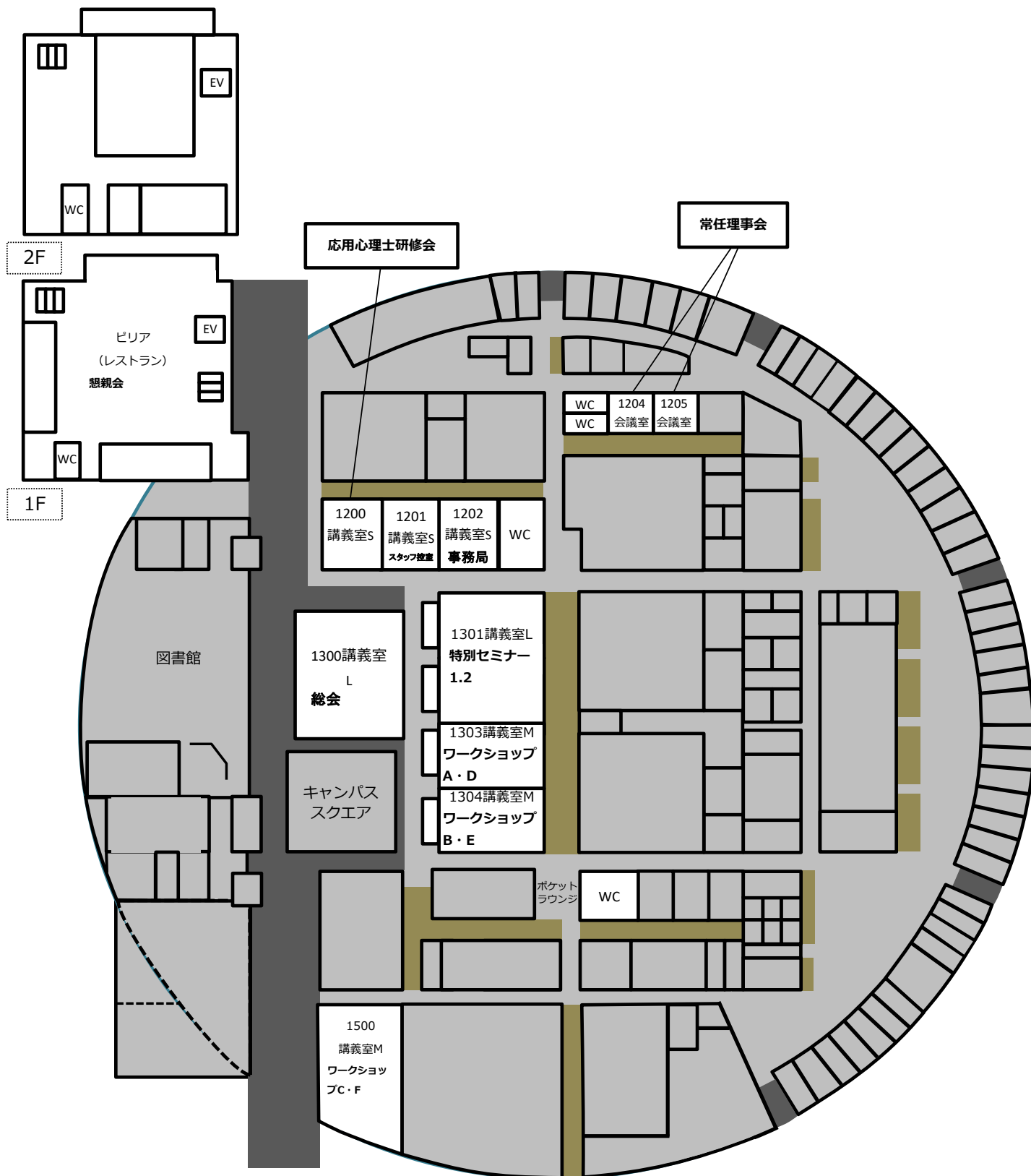
また、電源アダプタはご自身でご用意下さい。

音声接続をご利用の方は、事前に大会委員会へご相談下さい。

資料を配布される方は、各自ご準備の上、開始前に会場のスタッフにお渡しください。会場入口に資料を配置します。なお、会場での印刷はできません。配布資料は必ず事前にご用意ください。

1号館

ピリア (レストラン)



3号館



1階

第1日目 9月12日(土)

9:00 15 30	大会受付 9：00～18：00 3号館1階 50周年記念館前				企業展示室・休憩室 9：00～18：00 3号館1階3110講義室M	クローク 9：00～18：00 3号館1階3102講義室S 大会事務局 1号館1202講義室S
45 10:00 15 30 45 11:00 15	ポスター発表1 9：40～10：25前半 10：25～11：10後半 3号館1階3108講義室M	ポスター発表2 9：40～10：25前半 10：25～11：10後半 3号館1階3109講義室M	特別セミナー1 9：40～11：10 1号館1301講義室L			
30 45 12:00 15 30 45	総会 11：20～12：50 1号館1300講義室L ※昼食を準備しております					
13:00 15 30 45 14:00 15 30 45	ワークショップA 13：10～14：30 1号館1303講義室M	ワークショップB 13：10～14：30 1号館1304講義室M	ワークショップC 13：10～14：30 1号館1500講義室M	応用心理士研修会A 13：10～14：25 1号館1200講義室S		
15:00 15 30 45 16:00 15 30 45 17:00 15 30 45	大会企画シンポジウム1 「不易流行と応用心理学-これまでの応用心理学研究から未来を語る-」 14：40～17：10 3号館1階50周年記念館					
45						
18:00 15 30 45 19:00	懇親会 17：30～19：00 レストラン ピリア					

第2日目 9月13日（日）

9:00	大会受付 9：00～16：30 3号館1階 50周年記念館前			企業展示室・休憩室 9：00～15：30 3号館1階3110講義室M	クローク 9：00～17：00 3号館1階3102講義室S 大会事務局 1号館1202講義室S
15					
30					
45					
10:00	ポスター発表3 9：40～10：25前半 10：25～11：10後半 3号館1階 3108講義室M	ポスター発表4 9：40～10：25前半 10：25～11：10後半 3号館1階 3109講義室M	特別セミナー2 9：40～11：10 1号館1301講義室L		
15					
30					
45					
11:00					
15					
30	大会企画シンポジウム2 「不易流行と看護-さまざまな看護の立場から-」 11：20～12：20 3号館1階50周年記念館				
45					
12:00				企業展示室・休憩室 9：00～15：30 3号館1階3110講義室M	クローク 9：00～17：00 3号館1階3102講義室S 大会事務局 1号館1202講義室S
15					
30			常任理事会 12：30～13：30 1号館1204-1205会議室		
45					
13:00					
15					
30	ワークショップD 13：40～15：00 1号館1303講義室M	ワークショップE 13：40～15：00 1号館1304講義室M	ワークショップF 13：40～15：00 1号館1500講義室M		
45			応用心理士研修会B 13：40～14：55 1号館1200講義室S		
14:00					
15					
30					
45					
15:00				企業展示室・休憩室 9：00～15：30 3号館1階3110講義室M	クローク 9：00～17：00 3号館1階3102講義室S 大会事務局 1号館1202講義室S
15					
30					
45					
16:00	特別講演 「くまモンはなぜ愛されるのか -不易流行から読み解く“癒し”の文化-」 15：10～16：40 3号館1階50周年記念館				
15					
30					
45					
17:00					

第 92 回大会企画

シ ン ポ ジ ウ ム

特 別 講 演

特 別 セ ミ ナ ー

自主企画ワークショップ

大会企画シンポジウムI

9月12日(土) 14:40~17:10 3号館1階 50周年記念館

不易流行の応用心理学 ―これまでの応用心理学研究から未来を語る―

【概要】

私たちの社会には、時代を超えて変わらない「普遍的なもの」と、日々姿を変える「変化するもの」が重層的に存在しており、これまでの歴史をふまえても、インフラ、産業、社会構造など社会は常に大きく変化してきた。近年、生成 AI に象徴されるデジタルテクノロジーが驚異的に発展し、従来の形ある有形の物とは異なる質的な変化が生じている。私たちを取り巻く職場環境や日常生活様式、社会生活におけるコミュニケーションの形までもが大きく変化している。しかし、どれほど時代が移ろっても、人間が安らぎを求め、他者との関係性を築こうとする根源的な心の働きは、普遍的なものとして揺らぐことがない。

本シンポジウムでは、これまで産業・組織心理学、実験心理学・社会心理学、教育心理学、交通心理学など、応用心理学の発展に長年尽力してこられた専門家をお迎えし、この「普遍」と「変化」が交差する時代において、現代社会をどのように読み解くべきか、その視点を探るものである。

【シンポジスト】

角山剛（東京未来大学）

大坊郁夫（大阪大学、東京未来大学、北星学園大学）

藤田主一（日本体育大学）

森下高治（帝塚山大学）

蓮花一己（帝塚山大学）

＊五十音順

【司会】

山本勝則（札幌保健医療大学 保健医療学部）

多久島寛孝（熊本保健科学大学 保健学部）

大会企画シンポジウム 2

9月13日(日) 11:20~12:20 3号館1階 50周年記念館

不易流行と看護 ―さまざまな看護の立場から―

【概要】

本シンポジウムは、看護の本質である「ケア」と、心理学が支える「人間理解」を統合し、現代の看護実践を応用心理学の視点から捉え直すことを目的とする。看護は、看護の対象となるさまざまな人と最も長く、最も近く関わる専門職であり、行動・感情・意思決定を理解するための心理学的視点を欠くことができない。行動分析学、コミュニケーション科学、発達・認知心理学などの知見は、患者の安心感や治療行動の継続、意思決定支援、環境調整に直結し、医療現場の課題に対応するための基盤となっている。医療技術や社会構造が大きく変化し、AIをはじめとするデジタル技術が急速に進展する中で、看護の役割は大きく変化し、さらに拡大し続けている。しかし、社会がどのように変化しても、看護の根底にある「人の尊厳を守り、その人らしさを支える」という立場に変わりはない。変化するものと変わらないものが併存する現代において、看護は応用心理学の知見を最も実践的に活用する領域であるともいえる。

本シンポジウムでは三名のシンポジストをお迎えする。学生相談・修学サポートセンターのオーガナイザー、病院管理者として副院長兼看護部長、そして行動科学の実践・研究者というそれぞれの立場からご登壇いただき、その後の討議の中で、激動し変化し続ける社会の中でも変わらず求められる「ケアの本質」を再確認する。さらに、心理学と看護が連携することで新たな価値を生み出す可能性について探る場としたい。

【シンポジスト】

岩村純子(熊本保健科学大学 学生相談・修学サポートセンター)

水主いづみ(静岡県立静岡がんセンター)

中嶋一恵(筑波大学発ベンチャー(株)SDS SAT 情動認知行動療法研究所)

＊五十音順

【司会】

多久島寛孝(熊本保健科学大学 保健学部)

特別講演

9月13日(日) 15:10~16:40 3号館1階 50周年記念館

くまモンはなぜ愛されるのか ― 不易流行から読み解く“癒やし”の文化

講演者

柳田紀代子(EDIT Place Lab 代表、元尚絅大学現代文化学部 教授)

司会

多久島寛孝(熊本保健科学大学 保健学部)

【概要】

現代社会においては、歌手や俳優などのタレント、イメージキャラクター、スポーツアスリートなど、多様な「アイドル」が存在している。「推し活」文化に象徴されるように、こうした「アイドル」は時代が移り変わっても人々の心を強く惹きつけ続けている。その背景には、「不易」である人間の根源的な心理と、メディアや社会の変化に応じて姿を変える「流行」である文化的現象が重層的に関わっていると考えられる。

熊本県の公式キャラクターである「くまモン」は、2011年3月の九州新幹線全線開業をきっかけに誕生した。番組「くまもとの風 くまモンと共に〜熊本地震 活動再開までの3週間」(NHK熊本放送)で描かれたように、くまモンは単なるキャラクターとしての「アイドル」に留まらず、多くの人々に寄り添う普遍的な“癒やし”の存在となっている。

本講演では、くまモンが愛され続ける普遍的な理由と、その背景にある社会的変化を整理し、現代における“癒やし”の本質について考察する。

【柳田紀代子先生プロフィール】

熊本県庁において37年間行政分野に携わり、くまモン課長を経て、健康福祉部子ども・障がい福祉局長で退職。ホテル熊本テルサの代表として経営に取り組んだ後、尚絅大学現代文化学部教授として、地域活性化や観光分野の人材育成に尽力。現在は、地域ブランディングプロデューサーとして「EDIT Place Lab」を開設し、地域の活性化につながる実践的な活動を展開中。

第92回大会企画

特 別 セ ミ ナ ー

特別セミナー1

日程：9月12日（土）9:40～11:10

スピーカー：田中 真介（元京都大学国際高等教育院）

安藤 哲夫（元鹿児島大学医学部）

佐々木美智子（龍桜高等学校看護学科専門課程）

題 目：熊本水俣病の新たな理解と応用心理学の課題

～新生児の臍帯残留メチル水銀濃度の解析をもとに～

特別セミナー2

日程：9月13日（日）9:40～11:10

スピーカー：権野めぐみ（名古屋葵大学、京都工芸繊維大学）

題 目：子どもの発達を踏まえた自転車指導と交通安全教育を考える

—現代の子どもを取り巻く環境変化と教育実践—

自主企画ワークショップ

9月12日(土) 13:10~14:30

ワークショップA

心理学における「基礎」と「応用」の再構築の道筋：研究者と実践家の対話から考える
久保尚也、石岡綾香、坊隆史、軽部幸浩

ワークショップB

介護・看護・医療の現場との協働のあり方について：アクション・リサーチを目指して
企画・司会：木村友昭(MOA健康科学センター)
話題提供者：林田りか(長崎県立大学看護栄養学部看護学科)
高石光一(横浜国立大学国際社会科学研究院)
田中英明(MOA健康科学センター)

ワークショップC

児童期・青年期の自己信頼性と社会的交流性の発達と教育
～沖縄・八重山諸島の小中学校での新たな発達援助と教育実践をもとに～
本原琴美、田中真介、佐々木美智子

9月13日(日) 13:40~15:00

ワークショップD

不易流行の心理学教科書をめざして ―これからの時代の一般心理学教科書のありかたを探る―
企画・司会：伊藤令枝
企画・指定討論者：藤田主一
話題提供：伊坂裕子、時田 学

ワークショップE

心理臨床実践における「安定化」の意義を考える ―初学者にこそ学んでほしい視点と技術―
小鹿柚祐、今井田貴裕、中谷智美、福井義一、磯和壮太郎

ワークショップF

AI×心理学で社会実装を加速
―『コンバーGINGテクノロジー実践学』刊行記念ワークショップ―
企画・司会：紺野剛史(富士通)
話題提供：紺野剛史(富士通)、設楽一碩(富士通)
指定討論：桐生正幸(東洋大学)

ポスター発表 AI 9月12日(土)

3号館 3108 講義室 M

在席責任時間: 奇数番号(前半)09:40~10:25

偶数番号(後半)10:25~11:10

原理・認知・感情

- | | | | | |
|------|--|---|----------------------------|---|
| AI-1 | 視線計測を用いたゲーム課題中の視線・意識とスコアの関係性の調査 | ○ | 谷口穂高 1
来田宣幸 2
幸田仁志 2 | (1 京都工芸繊維大学
院 工芸科学研究科)
(2 京都工芸繊維大学
院基盤科学系) |
| AI-2 | きらら作品におけるキャラクターデザインの変遷と印象の検討 | ○ | 安井亮太 1
来田宣幸 2
幸田仁志 2 | (1 京都工芸繊維大学
院 工芸科学研究科)
(2 京都工芸繊維大学
院基盤科学系) |
| AI-3 | 高嶋正士と偉大性心理学—鎌倉時代に生きた親鸞聖人の偉大性について(4)— | ○ | 藤田主一 | (日本体育大学) |
| AI-4 | 「正真念仏偈」で使用された言葉にみられる他力の思想—親鸞の宗教的信念をさぐる(2)— | ○ | 伊藤令枝 1
藤田主一 2 | (日本大学理工学部)
(日本体育大学) |
| AI-5 | 生成 AI イラストにおける「AI らしさ」の知覚メカニズム | ○ | 下條朝也 | (こころの科学研究所) |
| AI-6 | 不公平な評価場面における妬みの社会的共有 | ○ | 井上裕珠 | (日本大学) |
| AI-7 | 画像鑑賞による気分への効果—感情価と色の違いに着目して— | ○ | 太子のぞみ 1
佐野綾子 1 | (1 武庫川女子大学) |

教育・発達・人格

- | | | | | |
|-------|--|---|--|-------------------------|
| AI-8 | 自己批判の質的変容を促進するオンライン教育プログラムが動機づけに及ぼす効果 | ○ | 巻田晴香 1
及川昌典 1 | (1 同志社大学大学院
心理学研究科) |
| AI-9 | 会話履歴を題材とする AI コーチが内省プロセスに及ぼす作用の分析 | ○ | 設楽一碩 1
岩崎 翔 1
吉岡隆宏 1
桐生正幸 2
紺野剛史 1 | (1 富士通株式会社)
(2 東洋大学) |
| AI-10 | 対話分析 AI による内省支援が顧客対応従業員のラポール形成行動に与える効果 | ○ | 岩崎 翔 1
設楽一碩 1
吉岡隆宏 1
桐生正幸 2
紺野剛史 1 | (1 富士通株式会社)
(2 東洋大学) |

AI-11	大学生の進学動機と主観的幸福感の関連 ―居場所感の役割に着目して―	○	中山隼登 1 宮里翔大 2 宮下達哉 3 山村 豊 2	(1 帝京大学) (2 桜美林大学) (3 宮城学院女子大学)
AI-12	学校いごち度尺度を用いた継続的アセスメントの有用性 ―中学生を対象とした3年間縦断データによる軌跡パターンの検討―	○	大門耕平 1 駒田淑久 2 来田宣幸 3	(1 東北学院大学) (2 近江兄弟社中学校) (3 京都工芸繊維大学)
AI-13	正規学部留学生のキャリア形成における経験を通じた再方向づけ ―半構造化個別インタビューに基づく質的研究―	○	岡 葉子 1 大森哲至 1 田宮 憲 2	(1 帝京大学) (2 帝京大学短期大学)
AI-14	理系的興味形成のきっかけと現在の専攻選択との関連の検討	○	名雪しげみ 1 時田 学 2	(1 日本大学大学院) (2 日本大学)
AI-15	福井県内大学在籍者における出身地の違いとキャリア意識・心理的要因の関連	○	森本康太郎	(京都産業大学)
臨床・福祉・相談				
AI-16	大学生における一日一善心理教育プログラム(物版)の試行的実践 自傷傾向及びネガティブ感情,セルフコンパッションへの影響の検討	○	田中未来 1 土居正人 2	(1 吉備国際大学大学院) (2 吉備国際大学)
AI-17	心理臨床家のキャリア形成過程におけるキャリアレジリエンスの研究:複線径路等至性アプローチ(TEA)による職業径路の分析	○	西堀まゆ 1 堀 洋元 2 種市康太郎 3	(1 桜美林大学大学院) (2 大妻女子大学) (3 桜美林大学)
AI-18	教育虐待と小児期逆境体験の関連 各尺度の項目間の相関に着目して	○	小鹿柚祐 1 今井田貴裕 2	(1 仁愛大学大学院) (2 仁愛大学)
健康・看護・医療				
AI-19	妊娠中の姿勢安定化の指標としての不安と腹囲	○	和田万紀 1 永井正則 2	(1 日本大学) (2 健康科学大学)
AI-20	栄養表示の種類が消費者の食品選択に及ぼす影響 食リテラシー及び食知識との関連	○	杉山聡一 1 来田宣幸 2 幸田仁志 2	(1 京都工芸繊維大学大学院) (京都工芸繊維大学)
AI-21	精神科デイケアにおける看護師の役割に関する教科書分析	○	欠ノ下郁子 1 高橋正樹 1 山本勝則 1	(1 札幌保健医療大学)
AI-22	ストレスに関する心身相関の分類化とその特徴について	○	内田誠也 1 田中英明 1	(1 一般財団法人 MOA健康科学センター)

ポスター発表 B1 9月12日(土)

3号館 3109 講義室 M

在席責任時間: 奇数番号(前半)09:40~10:25

偶数番号(後半)10:25~11:10

犯罪・社会・文化

- | | | | | |
|------|--|---|--|--|
| B1-1 | 警察を装う特殊詐欺における大学生の被害化プロセス
—模擬電話実験による検討— | ○ | 木次 恵 1
高橋靖知 2
有賀敦紀 2 | (1 中央大学大学院)
(2 中央大学) |
| B1-2 | 愛玩動物に対して生じる皮相的な攻撃行動の検討
—日本語版対愛玩動物キュートアグレッション尺度の
作成— | ○ | 日高舞子 | (国際医療福祉大学大
学院) |
| B1-3 | ハンドマッサージ中の会話における話題の深さの変化
の検討 | ○ | 宮本圭子 1
岩崎和子 1
来田宣幸 1 | (1 京都工芸繊維大学
応用生物学専攻生体行
動科学研究室) |
| B1-4 | セルフヘルプグループにおける組織コミットメント構造
—断酒会会員を対象にした検討— | ○ | 五百竹亮丞 1
井川純一 2
田中瑞樹 3
長尾早江子 3 | (1 広島文化学園大学)
(2 東北学院大学)
(3 呉みどりヶ丘病院) |
| B1-5 | 社会認知的マインドフルネスに基づくセルフコーチング
が愛着不安および愛着回避に及ぼす効果 —中国人成
人を対象としたオンライン実験— | ○ | 楊 帆 1
小塩真司 1 | (1 早稲田大学) |
| B1-6 | 人権アドボカシー形成を促進・抑制する心理的要因の
分析 —タイの大学生に対するインタビューの質的分析
— | ○ | 上瀬由美子 1
チョルチャワリ
ットカノパン 2
前田隆子 1 | (1 立正大学心理学部)
(2 立正大学法学部) |
| B1-7 | 大学生の日常における社会的迷惑行為への意識 | ○ | 軽部幸浩 | (東京富士大学) |
| B1-8 | 子どもを持つことへの意思決定尺度作成への試み(1)
—自由記述からの概念的検討— | ○ | 生井裕子 1
玉井航太 2 | (1 清泉大学)
(2 北海商科大学) |
| B1-9 | フラワーショップにおけるカスタマーハラスメントはなぜ
生じるのか —消費者苦情行動モデル(CCB モデル)
による検討— | ○ | 杉本たまき | (花と社会心理学研究
室) |

産業・交通・災害

- | | | | | |
|-------|--|---|---|---|
| B1-10 | 福島第一原発事故 13 年後の精神的健康 —生きがい
の欠如と心理社会的負担— | ○ | 大森哲至 1
岩井美路子 2
岡 葉子 1
山村 豊 3
田宮 憲 4 | (1 帝京大学)
(2 東京海洋大学)
(3 桜美林大学)
(4 帝京大学短期大学) |
|-------|--|---|---|---|

B1-11	長期災害復興研究における測定と解釈の課題	○ 岩井美路子 1 大森哲至 2 岡 葉子 2	(1 東京海洋大学) (2 帝京大学)
B1-12	大阪府堺市銘菓の心理的特徴に基づく新規菓子開発とポジショニング	○ 秋保亮太 1 中村早希 2 大本浩司 2	(1 高知工科大学) (2 帝塚山学院大学)
B1-13	あおり運転を行うドライバーの心理特性の検討 ―セッションシーキングと心理的リアクタンスに着目して―	○ 今井靖雄	(金沢大学大学院)
B1-14	笑顔広告は効果的か？ 財の特性・価格帯の差異に着目して	○ 井川純一 1 小泉寛奈 2	(1 東北学院大学) (2 お茶の井ヶ田(株))
B1-15	運転免許保有の有無が自他の交通行動の認識に及ぼす影響	○ 大谷 亮	((一財)日本自動車研究所)
B1-16	インターンシップ・職業臨地実習経験が入職後のプロアクティブ行動に及ぼす影響	○ 三保紀裕 1 松尾智晶 2 寺田盛紀 3	(1 京都先端科学大学) (2 京都産業大学) (3 京都先端科学大学客員研究員)
B1-17	高齢者福祉施設で働く介護労働者の転倒防止行動に関する分析	○ 高橋明子 1 三品 誠 2	(1 労働安全衛生総合研究所) (2 サイビジョン)
B1-18	鉄道利用者のリスク認知・行動とその要因の検討	○ 森田英嵩 1 脇水俊行 1 米沢隆史 1 和田一成 1	(1 西日本旅客鉄道株式会社安全研究所)
B1-19	電動キックボード使用時のリスク知覚に関する実験的検討	○ 森泉慎吾	(帝塚山大学)

スポーツ・生理

B1-20	大学剣道部員における心理的特性の研究 ―選手と非選手との比較―	○ 井上雄貴 1 新里知佳野 1 古澤伸晃 1 百田尚史 1 八木沢誠 1 軽部幸浩 2 藤田主一 1	(1 日本体育大学) (2 東京富士大学)
B1-21	剣道の寒稽古前後における意識変容 ―女子部員に着目して―	○ 百田尚史 1 古澤伸晃 1 新里知佳野 1 井上雄貴 1 八木沢誠 1	(1 日本体育大学) (2 東京富士大学)

軽部幸浩 2
藤田主一 1

- | | | | | |
|-------|--|---|--|--|
| B1-22 | ダンスのダウン動作におけるタイミングのばらつき：
音楽条件による影響 | ○ | 近藤さくら 1
幸田仁志 2
来田宣幸 2 | (1 京都工芸繊維大学
大学院)
(2 京都工芸繊維大学) |
| B1-23 | クラシックバレエ指導における言語表現の収集と分類
ー熟練指導者のレッスン発話分析ー | ○ | 権野めぐみ
1, 2
来田宣幸 2 | (1 名古屋葵大学)
(2 京都工芸繊維大学) |
| B1-24 | 部活動支援体制の効果に関する実践的検討 ー高校
バレーボール部における痛みチェックの変化に着目して | ○ | 伊藤将史 1
大門耕平 2
山本ちさと 3
権野めぐみ 4
来田宣幸 5 | (1 近江兄弟社高等学
校)
(2 東北学院大学)
(3 Body Nate)
(4 名古屋葵大学)
(5 京都工芸繊維大学) |

ポスター発表 A2 9 月 13 日(日)

3号館 3108 講義室 M

在席責任時間： 奇数番号(前半)09:40~10:25

偶数番号(後半)10:25~11:10

教育・発達・人格

- | | | | | |
|------|---|---|----------------------------|--|
| A2-1 | 乳児の強度のネガティブ情動への父母の試行錯誤行
動と sensitivity との関連 ー離乳期における食事場
面に見られる乳児と父母のやりとりからー | ○ | 福田佳織 1
森下葉子 2
尾形和男 3 | (1 東洋学園大学)
(2 文京学院大学)
(3 放送大学) |
| A2-2 | 「なりたくない自己」をめぐる対処プロセス | ○ | 能渡綾菜 1
能渡真澄 2
望月 聡 3 | (1 立正大学)
(2 株式会社ビジネスリ
サーチラボ)
(3 法政大学) |
| A2-3 | 家族イメージ法による家族関係の可視化
ーきょうだい・両親の強さや結びつきー | ○ | 安藤悠子 | (愛知大学) |
| A2-4 | 大学新入生のキャンプ実習が学校適応感や共同体感
覚に及ぼす影響 | ○ | 佐々木史之 | (環太平洋大学) |
| A2-5 | 日本人大学生のキャリア形成における分岐過程
ー将来不安・自己理解・支援経験に着目してー | ○ | 田宮 憲 1
大森哲至 2
岡 葉子 2 | (1 帝京大学短期大学)
(2 帝京大学) |
| A2-6 | ロール・プレイングの可能性(4)
ー教育をささえる取組みー | ○ | 時田 学 | (日本大学) |

- A2-7 小学生時のインターネット・ゲーム障害傾向と親の養育態度が青年期の母親に対するアタッチメント・スタイルに及ぼす影響 ○ 磯和壮太郎 (名古屋芸術大学)

臨床・福祉・相談

- A2-8 SNS に対する依存と SNS 使用時のストレスの関連 — 行動依存の構成要素モデルに基づく検討 — ○ 福井義一 1 (1 甲南大学)
中谷智美 2 (2 名古屋産業大学)
- A2-9 小児期逆境経験が解離傾向を介して SNS 依存に及ぼす影響 — 解離の 3 因子モデルの適用 — ○ 中谷智美 1 (1 名古屋産業大学)
福井義一 2 (2 甲南大学)
- A2-10 被爆二世の生活史 — ライフサイクルと心理的課題を踏まえて — ○ 岩崎久志 (流通科学大学)
- A2-11 自責感・他責感を対称的に測定する尺度の作成 その 1 — 因子の妥当性の検討 — ○ 今井田貴裕 1 (1 仁愛大学)
今井田真実 2 (2 福井医療大学)
小鹿柚祐 3 (3 仁愛大学大学院)

健康・看護・医療

- A2-12 大学生における応答的自律性とキャリア形成 (1) — クリパルヨガの質的知見に基づく尺度開発 — ○ 大島裕子 1 (1 北里大学大学院)
吉田 悟 2 (2 文教大学)
- A2-13 大学生における応答的自律性とキャリア形成 (2) — 進路決定自己効力感へのメカニズム検証 — ○ 吉田 悟 1 (1 文教大学)
大島裕子 2 (2 北里大学大学院)
- A2-14 精神科および内科における多職種連携の工夫 1 — 職種別にみた実施状況の比較 — ○ 古屋 健 1 (1 立正大学)
異儀田はづき 2, 3 (2 立正大学大学院)
(3 帝京大学)
- A2-15 精神科および内科における多職種連携の工夫 2 — 工夫の効果に関する検討 — ○ 異儀田はづき 1, 2 (1 立正大学大学院)
(2 帝京大学)
古屋 健 3 (3 立正大学)
- A2-16 百寿者における適応的受容の適用可能性 — 100 歳女性へのインタビュー調査から — ○ 三宅沙侑美 1 (1 吉備国際大学)
山野洋一 2 (2 京都産業大学)
田中共子 1
- A2-17 世代間ソーシャルスキルを取り入れた若者と高齢者との世代間交流プログラムの試み ○ 田中共子 1 (1 吉備国際大学)
中野祥子 2 (2 山口大学)

犯罪・社会・文化

- A2-18 未婚者の結婚イメージと経済的脅威の関連 ○ 渡辺伸子 (東北公益文科大学)
- A2-19 親の友人関係は子のロールモデルとなり得るか — 大学生の回想的認知に基づく検討 — ○ 日向野智子 (東京未来大学)

A2-20	10代の援助要請行動を促すアナログゲーム開発の効果検証 ～産学連携による『人を頼る』体験の社会実装～	○ 岩崎和子 1 山田勝也 2 成尾恒一郎 3 来田宣幸 1	(1 京都工芸繊維大学) (2 学校法人大商学園) (3 大興印刷株式会社)
A2-21	「ダンス・リサイクル」をめぐる振付家の意味づけ—3名の振付家インタビューによる探索的研究—	○ 阪本麻耶 1 来田宣幸 2 権野めぐみ 2,3	(1 四国学院大学) (2 京都工芸繊維大学) (3 名古屋葵大学)
A2-22	女子大学に感じる魅力と幸福感の関係	○ 風間文明	(十文字学園女子大学)
A2-23	駐車場における軽微な接触トラブルに対する感情的反応や報復的意図は、個人の寛容性とどのように関連するのか	○ 木田頼孝 1 時田 学 2	(1 日本大学大学院) (2 日本大学)
A2-24	万引きの前後で心拍数はどのように変化するか—疑似万引き実験における行動と心拍数の関連の検討—	○ 大久保智生 1 徳岡 大 2 大山智也 3 太幡直也 4	(1 香川大学) (2 金沢工業大学) (3 東京大学) (4 愛知学院大学)

ポスター発表 B2 9月13日(日)

3号館 3109講義室 M

在席責任時間: 奇数番号(前半)09:40~10:25

偶数番号(後半)10:25~11:10

産業・交通・災害

B2-1	消防組織の理想的リーダーシップと職業的自尊心—状況適合的アプローチによる検討—	○ 田中亮三	(日本大学大学院修了生)
B2-2	時計描画テストにおける生成 AI を用いた自動採点の予備的検討 —高齢ドライバ向け運転適性検査の開発—	○ 伊藤 倫 1 河野直子 1,2 林 雅大 3 青木宏文 1 島崎 敢 1,4 篠原一光 5 石松一真 6 増田奈央子 5	(1 名古屋大学未来社会創造機構) (2 大阪公立大学大学院) (3 株式会社 Arc) (4 近畿大学) (5 大阪大学大学院) (6 滋慶医療科学大学)
B2-3	スムーズ横断歩道のデザインの工夫がドライバに与える心理的影響 —逆三角形の効果—	○ 小嶋理江 1 小嶋 文 2 多田昌裕 3 久保田尚 2 蓮花一己 4	(1 名古屋大学) (2 埼玉大学) (3 関西大学) (4 帝塚山大学)
B2-4	上司のソーシャル・サポートがワーク・ライフ・バランスへの満足度に与える影響—介護職を対象として—	○ 大竹恵子	(京都先端科学大学)

- | | | | |
|------|---|---------------------|-----------------------------------|
| B2-5 | 発達障害者雇用におけるInclusion Management
成熟度の影響 -職場満足度・昇進状況・定着率・経
営状況との関連の検討 | ○ 渡辺めぐみ 1
伊東昌子 2 | (1 常磐大学)
(2 (社)人間中心社会共創
機構) |
| B2-6 | 長期プロジェクト型業務における達成志向的モチベ
ーションに関する個人別態度構造分析 | ○ 石橋里美 | (東京未来大学) |
| B2-7 | 新規学卒者のオンボーディングに向けた学習目標志
向性の効果 -4 時点縦断調査- | ○ 竹内倫和 | (学習院大学) |

スポーツ・生理

- | | | | |
|-------|---|--|--|
| B2-8 | 大学生が捉える「柔道の魅力」とは何か (1)
—因子分析の検討— | ○ 岡崎祐史 1
大藤潤也 2
大関貴久 3
森脇保彦 4
軽部幸浩 5
藤田主一 6 | (1 武庫川女子大学)
(2 至誠館大学)
(3 東日本国際大学)
(4 国士館大学)
(5 東京富士大学)
(6 日本体育大学) |
| B2-9 | 大学生が捉える「柔道の魅力」とは何か (2)
—男女間における魅力の差について— | ○ 大藤潤也 1
岡崎祐史 2
大関貴久 3
森脇保彦 4
軽部幸浩 5
藤田主一 6 | (1 至誠館大学)
(2 武庫川女子大学)
(3 東日本国際大学)
(4 国士館大学)
(5 東京富士大学)
(6 日本体育大学) |
| B2-10 | 大学生が捉える「柔道の魅力」とは何か (3)
—共起ネットワークによる分析— | ○ 大関貴久 1
岡崎祐史 2
大藤潤也 3
森脇保彦 4
軽部幸浩 5
藤田主一 6 | (1 東日本国際大学)
(2 武庫川女子大学)
(3 至誠館大学)
(4 国士館大学)
(5 東京富士大学)
(6 日本体育大学) |

教育発表 9 月 13 日(日)

D2-1

運転自己調節行動に影響を及ぼす諸要因の探索的検討

福井 匠流¹, 山村 豊¹, 小菅 英恵²

(¹ 桜美林大学, ² 交通事故総合分析センター)

発表要旨

健康で安全かつ自立的な移動性の確保は超高齢社会の重要課題であり、安全運転継続のための努力を行う意識を高める必要がある。本研究では、高齢者の運転自己調節行動に着目し、「高齢者講習」受講者約 9000 人を対象に、運転自己調節に関する 7 項目の行動を調査した。

各項目について、属性、運転や運転目的、運転継続の意思、運転に対する態度、QOL などの回答とのクロス集計を行い、 χ^2 検定と残差分析を行い効果量 (Cramer's V) を算出した。まず、属性については、女性のほうが自己調節を行っている回答が有意に多く、70 歳以下とサポカー乗り換えやドラレコ利用との関連が見られた。また、QOL に関する 5 項目 (5 件法、分析の際に 1~2 を「低位群」、3 を「中位群」、4~5 を「高位群」に統合) と運転自己調節の関連が見られた。

とりわけ、「運動機能を維持するために運動やスポーツを行っている」という自己調節と各 QOL との間に有意な関連が見られた。一方で、総じて自己調節を「特に何も行っていない」回答者は QOL が低い傾向があった。本分析より、運動自己調節は性別、年齢の特徴があり、QOL を高める自己調節行動がある可能性が示唆された。

D2-2

動画広告における二倍速視聴の選択主体が広告評価に及ぼす影響

—自己選択と外部指定の比較—

大溝優衣，高梨遥名，野村風翔，吉田圭汰，井上裕珠

（日本大学）

発表要旨

近年、デジタルメディアの発展により、個人が接触する動画コンテンツの量は増加している。そのなかで、限られた時間内に多くの情報を得ようとする「タイパ志向」が広がり、動画を通常より速い速度で視聴する倍速視聴も一般化しつつある。NTT ドコモ モバイル社会研究所（2024）によれば、10 代男女および 20 代女性の約 7 割が倍速視聴を行っていると言われる。従来の動画視聴研究では、再生速度の上昇が理解度や態度に及ぼす影響が検討されてきた。しかし、これらの研究は主に視聴速度そのものに注目しており、その速度が視聴者自身によって選択されたものか、外部から指定されたものかという点は十分に検討されていない。そこで本研究では、自己決定理論（Self-Determination Theory; Deci & Ryan, 1985, 2000）に基づき、同一の二倍速動画広告であっても、視聴者が自ら選択した場合と、配信側から指定された場合とで、広告評価が異なるのかを検討する。具体的には、6 分 30 秒の動画広告を二倍速化した 3 分 15 秒の広告を用い、知覚された統制感、広告侵入性、広告不快感、広告態度、ブランド態度、購買意図を測定する。結果は当日報告する。

D2-3

ハンバーガー広告における構図表現が購買意図に及ぼす影響

—商品画像の傾きと食事状況の効果—

菅谷 夢，丸野祐，内野沙良，井上裕珠

（日本大学）

発表要旨

本研究では、ハンバーガー広告における商品画像の構図が消費者評価に及ぼす影響を検討する。食品広告において、商品の形状や配置などの視覚的手がかりは、食品評価や選択に影響することが指摘されている（Vermeir et al., 2020）。一般に、広告写真では商品が整った状態で提示されることが多い。しかし、実際のハンバーガーチェーン店の広告では、バンズや具材がわずかに傾いた状態で表現される例も見られる。このような傾きは、商品の形状の乱れとして品質や食べやすさの評価を低下させる可能性がある。一方で、商品を手に取り、かぶりつく場面を想像しやすくすることで、食欲喚起や購買意図を高める可能性もある（Elder & Krishna, 2012）。そこで本研究では、2（広告画像の構図：整然型／傾き型）×2（食事状況：空腹想定／満腹想定）の参加者間計画による心理学実験を実施する。参加者には、食事状況を想定させうえで広告画像を提示し、摂食場面の想像、食欲喚起、品質評価、食べやすさ知覚、購買意図について回答を求める。傾き型の効果は、満腹想定時よりも空腹想定時に強くなると予測する。心理学実験の方法および結果の詳細については、当日報告する。

教育発表 9 月 13 日(日)

D2-4

従業員名札の表記方法は消費者評価に影響するのか？
—企業イメージ、購買意図、および商品関与に着目して—
キーワード: 名札表記, 企業イメージ, 購買意図, 商品関与
小高敦生, 金世衡, 山澤芽生, 井上裕珠
(日本大学)

発表要旨

近年、カスタマーハラスメント対策や個人情報保護の観点から、従業員名札にフルネームを記載しない、あるいは名札着用自体を見直す企業の対応が広がっている(朝日新聞, 2024 年 6 月 6 日)。従業員名札は、接客場面において消費者が目にする従業員情報の一つであり、従業員を識別するための視覚的手がかりとして用いられてきた。サービス場面においては、従業員の服装などの視覚的手がかりが、顧客と従業員の相互作用やブランド評価に影響することが示されている(Wang & Lang, 2019)。その一方で、従業員保護を目的とした名札表記の変更や名札廃止が、消費者の企業イメージや購買意図にどのような影響を及ぼすかについては、十分に検討されていない。そこで本研究では、従業員名札の有無および表記方法が、消費者の企業イメージと購買意図に与える影響を検討する。具体的には、フルネーム表記、イニシャル表記、職務表示、名札なしの 4 条件を設定し、名札条件の違いが安心感、信頼感、責任性の認知、および従業員保護への配慮の認知に及ぼす影響を検証する。さらに、高関与商品と低関与商品において名札表記の影響が異なるかについても探索的に検討する。調査方法および結果の詳細は、発表当日に報告する。

D2-5

管楽器演奏者の吹奏技能測定に向けた予備的検討
高山柊太, 来田宣幸, 幸田仁志
(京都工芸繊維大学)

発表要旨

管楽器演奏は、音の持続や音量の調整において、日常的な呼吸とは異なる吹奏技能が求められる。通常の呼吸機能検査にはスパイロメーターが用いられるが、実際の演奏時における吹口の形状、呼吸抵抗、鼻栓の装着など条件が異なり、一般人と管楽器奏者の肺機能に有意差が認められないと報告されている。そこで本研究では、管楽器奏者特有の吹奏技能を評価する指標の開発に向け、その予備的検討として、鼻栓の有無および吹口の狭さを変化させ、呼気量への影響を明らかにした。管楽器演奏者および未経験者を対象とし、通常のスパイロメーター用のマウスピースに加え、細径ストローおよび太径ストローを吹き口として用いた 3 条件、さらに鼻栓の装着の有無において、それぞれの 1 秒量を比較した。結果、吹き口の形状や抵抗条件によって測定値が大きく変化する可能性が示された。特に細径ストロー条件では 1 秒量が著しく低下し、吹き口の形状や呼気流量の制限が測定結果に影響することが示唆された。

D2-6

バスケットボールのシュートにおける距離と確率の関係

瀧本斎葵, 来田宣幸, 幸田仁志

(京都工芸繊維大学)

発表要旨

シュートの遠距離化が進む現代のバスケットボールにおいて4P ライン導入が考えられている。そこで、距離と成功率の関係から得点期待値を求め、適切と考えられる 4P ラインについて検討することを目的とした。

対象者は一般大学生 10 名とした。フリースローライン(4.225 m)、3P ライン(6.750 m)、仮想的な 4P ライン(8.200 m)から、20 本ずつシュートをおこなった。試技間には十分な休憩をとった。分析方法としては、3 条件でのシュート成功率から、各距離における得点期待値を計算した。

すべての距離からの得点を4点として距離との関係性をグラフ化した回帰直線(得点期待値を Y、ゴールからの距離を X とする)を求め、3P ラインからの得点期待値を回帰式に代入した際の値を個人に適した4P ラインとした。

フリースローラインからの成功率は $0.500 \pm 0.155\%$ 、3P ラインからの成功率は $0.235 \pm 0.090\%$ 、仮想 4P ラインからの成功率は $0.130 \pm 0.068\%$ であった。

回帰直線から求めた距離は、 8.022137 ± 0.39308 m であった。仮想的に制定した距離よりも短く、8.022137 m だった。

考察としては、制定した 8.20 m という距離はフィリピンのバスケットボールリーグで実験的に導入されたものであり、プロに適した距離であり、大学生レベルに合わせた場合、8 m 前後が妥当だったのではと考えられる。今回、各個人に対して 1 回ずつの試行であったため、確率的な上振れや下振れがあったと考えられるため距離の結果を前後する可能性が考えられる。

D2-7

幸せは上にあるのか

—大学生が選択した「幸せ」写真における上向きの視線・姿勢・構図の分析—

川井萌香, 山下嘉子, 河内麻里, 高山莉々子, 井上裕珠

(日本大学)

発表要旨

本研究では、大学生が「幸せ」をどのような視覚的イメージとして捉えているのかを検討する。身体化認知の立場では、認知や感情は身体状態、知覚、行為と切り離されずに成立すると考えられている(Barsalou, 2008)。また、ポジティブな感情や評価は上方向、ネガティブな感情や評価は下方向と結びつきやすいことが示されている(Meier & Robinson, 2004)。さらに、上方向への運動はポジティブな記憶の想起と関連する可能性も報告されている(Casasanto & Dijkstra, 2010)。そこで本研究では、大学 1・2 年生に「自分にとって幸せを表す写真」を提出してもらい、写真に含まれる視線方向、顔や身体の向き、構図の方向性、空や光の有無、幸せの対象、幸せの種類を分類する。特に、幸せを表す写真において、上方向を含む構図や上向きの視線・姿勢がどの程度みられるかを探索的に分析する。本研究により、大学生が幸福を表現する際の視覚的特徴を明らかにし、幸福感の表象と身体化認知との関連について検討する。

教育発表 9 月 13 日(日)

D2-8

AI に話すことは人に話す準備になるのか
—感情明瞭性と対人相談意図に着目して—
安藤楓, 中島日菜、笠原志希、萩原陶冶, 井上裕珠
(日本大学)

発表要旨

本研究では、大学生が感情を表出しにくい場面において、AI チャットへの感情開示がその後の対人相談意図に及ぼす影響を検討する。従来、感情やつらい経験を文章化する筆記開示法は、心理的適応と関連する可能性が示されてきた(Pennebaker & Beall, 1986)。また、チャットボットによる情緒的サポートは、ストレスや心配の低減に関わる可能性がある(Meng et al., 2021)。しかし、AI への開示が人間への相談を促すのか、代替するのは十分に明らかでない。そこで本研究では、大学生に対人関係で感情を表出しにくい場면을想定させ、AI に話す条件、ノートに書く条件、何もしない条件を比較する。その後、感情明瞭性、被受容感、心理的負担、対人相談意図、AI または筆記のみで十分だと感じる程度を測定する。これにより、AI への感情開示が、対人相談の準備として機能するのか、それとも対人表出を代替するのかを探索的に検討する。

D2-9

青年期男女における容姿の自己不一致感と
公的自己意識および対人不安との関連性
藤生伊吹, 時田学
(日本大学)

発表要旨

青年期は自身の容姿についての関心が高まる(島, 1988)。金本・金本(2002)は、青年期男女における自身の身体意識と自己意識の関連性を検証しているが、そこでは主に体重や体型といった身体全身に焦点が当てられていた。また、「あなたは、自分の見た目を気にしていますか」という質問に対し 8 割が自分の見た目を気にしていることが報告されている(朝日新聞デジタル(2017))。そこで本研究では、見た目として特徴的である自己顔面を対象として、(1) 自己顔面における理想と現実の自己不一致感が大きい個人ほど、他者からの評価を過剰に気にする公的自己意識が高まり、特性不安を増強させる。(2) ①自己不一致感②公的自己意識③特性不安という一連の影響プロセスは、男性よりも女性において、より顕著にみられる。という 2 つの仮説を検討する。N 大学所属学生約 200 名程度を対象に、自己意識尺度(菅原, 1984)、顔不満足感尺度(綾瀬, 2023)、状態—特性不安尺度(Spielberger・Gorsuch・Lushene, 1970)を用いた質問紙調査を行った結果を報告することを予定している。

D2-10

自然写真によるストレス軽減効果：
明るさ・見通し・樹種間の効果についての検討
山崎裕巳，時田学
(日本大学)

発表要旨

Hans Selye (1936) がストレス概念を体系化して以来、ストレスに関する研究は多岐にわたり発展してきた。近年では、自然環境がストレスに及ぼす影響が注目されており、森林浴などの直接的な自然体験だけでなく、自然の写真や映像などを見る間接的な自然体験にもストレス軽減効果があることが実証的に示されている (Ulrich et al., 1991; 八木, 2021)。SNS の普及により、自然の写真を日常的に閲覧、共有する機会が増えている現在、間接的な自然体験によって得られる心理的効果を研究することの意義は大きいと考えられる。本研究ではストレス軽減方略として自然写真の構成要素に着目し、既存研究で重要性が指摘されている、明るさ・見通しのよさ・樹種の 3 つの要因 (畠山, 2012; 藤井・石田, 2018) を独立変数、状態不安尺度 (STAI-S) を従属変数として設定しそれらの効果を検討する。明るい・見通しが良い・広葉樹の写真は状態不安が低下する可能性に加え、これらの要因間の交互作用を検討することによって構成要素間の効果を検討したいと考えている。調査は N 大学に通う大学生の男女を対象として実施する予定である。

D2-11

健康に対する考え方の特徴の分析：
新型コロナウイルス感染症 5 類指定後の「新しい生活様式」の比較
齊野平 海，来田宣幸，幸田仁志
(京都工芸繊維大学)

発表要旨

本研究は、新型コロナウイルス感染症 5 類指定に伴う「新しい生活様式」などの日常生活における行動の変化に着目して、健康に対する考え方についてその特徴を明らかにすることを目的とした。18 歳以上の男女 101 名を調査対象者として、Google Forms による質問調査を実施した。調査では、「新しい生活様式」実践尺度、健康関心度尺度、主観的健康統制感尺度 (MHLC 尺度) を用いた。「新しい生活様式」実践尺度については、2022 年 1 月から 3 月頃の行動と 2026 年 1 月から 3 月頃の行動を回答させ、その結果を比較したところ、外出自粛や三密回避、感染情報の回避、オンライン活用などは、2026 年ではほぼ実施していないことが分かった。一方、一般的な感染対策は 2022 年、2026 年ともに高い値であり、パンデミック収束後も新しい生活様式が継続されていることが示唆された。また、健康関心度尺度では健康情報への関心や健康状態への意識が高く、MHLC 尺度では健康や病気の回復を自分や家族の行動と関連づけて考える傾向が確認された。医療従事者と非医療従事者を対象としているため、両者間の比較や学生と社会人といった年代間による違いの観点からも分析する予定である。これらの分析を通して、人々の健康行動や健康観の関係を明らかにしたい。

D2-12

メイク濃度が印象評価に与える影響:視線計測を用いた検討

廣瀬佑衣, 来田宣幸, 幸田仁志

(京都工芸繊維大学)

発表要旨

メイクは対人印象を左右する重要な要因である。顔に基づく印象判断は極めて短時間で形成され、その後の観察時間が長くなっても大きく変化しないことが報告されている(Etcoff ら, 2011)。また、メイクは顔の魅力を高めるだけでなく(Cash ら, 1989; Russell ら, 2003; Etcoff ら, 2011)、能力や好感度、信頼性などの印象評価にも影響を及ぼし、その効果はメイクの濃さによって異なることが示されている(Etcoff ら, 2011)。さらに、メイクは顔のコントラストや目の見かけ上の大きさを変化させ、女性らしさ(性的二形性)を強調することが報告されている(Russell ら, 2003; 松下ら, 2015; 森川ら, 2015)。しかし、メイク濃度の違いが観察者の視線配分をどのように変化させ、その視線行動が印象形成にどのように関与するかは十分に明らかではない。そこで本研究では、メイク濃度が視線行動および印象評価に及ぼす影響を検討し、視線が印象形成に果たす役割を明らかにすることを目的とする。メイク濃度の異なる顔画像を提示し、視線計測と印象評価を実施して、その関連を分析する。

D2-13

有機食品に関するリテラシーと消費者認識が認知価格に与える影響

入江拓海, 来田宣幸, 幸田仁志

(京都工芸繊維大学)

発表要旨

近年、環境や生産過程に配慮した消費行動の重要性が高まっている。なかでも有機食品は、化学肥料や農薬の使用を抑え、環境負荷の低減に資する食品として位置づけられている。農林水産省も有機農業および有機食品の普及を推進しているが、有機食品の購入は十分に広がっていない。その主な障壁の一つとして、消費者が認識している有機食品の価格(認知価格)が、実際の店頭価格と異なっている可能性がある。例えば、認知価格が高い者は有機食品を敬遠し、認知価格が低い者は有機食品の価値を正しく理解していないと考えられる。こうした認知価格には、個人の有機食品に関するリテラシーや品質・安全性に対する認識(消費者認識)が関与している可能性がある。

そこで本研究では、有機食品の実際の価格と消費者の認知価格との間に乖離が存在するかを検討するとともに、有機食品に関するリテラシーとりわけ知識や消費者認識などが、認知価格の形成にどのように関連するかを明らかにする。

氏名索引(研究発表)

【ア】

青木	宏文	アオキ	ヒロフミ		24
秋保	亮太	アキホ	リョウタ		21
安達	悠子	アダチ	ユウコ		22
有賀	敦紀	アリガ	アツノリ		20
安藤	哲夫	アンドウ	テツオ		16

【イ】

五百竹	亮丞	イオタケ	リョウスケ		20
井川	純一	イガワ	ジュンイチ		20, 21
異儀田	はづき	イギタ	ハヅキ		23
生井	裕子	イクイ	ユウコ		20
伊坂	裕子	イサカ	ヒロコ		17
石岡	綾香	イシオカ	アヤカ		17
石橋	里美	イシバシ	サトミ		24
石松	一真	イシマツ	カズマ		24
磯和	壮太郎	イソワ	ソウタロウ		17, 22
伊東	昌子	イトウ	マサコ		24
伊藤	将史	イトウ	マサシ		22
伊藤	令枝	イトウ	ヨシエ		17, 18
伊藤	倫	イトウ	リン		24
井上	雄貴	イノウエ	ユウキ		21
井上	裕珠	イノウエ	ユミ		18
今井	靖雄	イマイ	ヤスオ		21
今井田	貴裕	イマイダ	タカヒロ		17, 19, 23
今井田	真実	イマイダ	マミ		23
岩井	美路子	イワイ	ミチコ		20, 21
岩崎	和子	イワサキ	カズコ		20, 23
岩崎	翔	イワサキ	ショウ		18
岩崎	久志	イワサキ	ヒサシ		23

【ウ】

内田	誠也	ウチダ	セイヤ		19
----	----	-----	-----	-------	----

【オ】

及川	昌典	オイカワ	マサノリ		18
大門	耕平	オオカド	コウヘイ		19, 22
大久保	智生	オオクボ	トモオ		24
大島	裕子	オオシマ	ユウコ		23

大関	貴久	オオゼキ	タカヒサ		25
大竹	恵子	オオタケ	ケイコ		24
大谷	亮	オオタニ	アキラ		21
大藤	潤也	オオフジ	ジュンヤ		25
大森	哲至	オオモリ	テツシ		19, 20, 21, 22
大山	智也	オオヤマ	トモヤ		24
岡	葉子	オカ	ヨウコ		19, 20, 21, 22
岡崎	祐史	オカザキ	ユウジ		25
尾形	和男	オガタ	カズオ		22
小塩	真司	オシオ	アツシ		20

【カ】

欠ノ下	郁子	カケノシタ	イクコ		19
風間	文明	カザマ	フミアキ		24
上瀬	由美子	カミセ	ユミコ		20
軽部	幸浩	カルベ	ユキヒロ		17, 20, 21, 22, 25
河野	直子	カワノ	ナオコ		24

【キ】

来田	宣幸	キダ	ノリユキ		18, 19, 20, 22, 23, 24
木田	頼孝	キダ	ヨリタカ		24
木次	恵	キツギ	メグミ		20
木村	友昭	キムラ	トモアキ		17
木村	裕珠	キムラ	ユミ		18
桐生	正幸	キリウ	マサユキ		17, 18

【ク】

久保	尚也	クボ	ナオヤ		17
久保田	尚	クボタ	ヒサシ		24

【コ】

小泉	寛奈	コイズミ	カンナ		21
幸田	仁志	コウダ	ヒトシ		18, 19, 22
小鹿	柚祐	コジカ	ユズユ		17, 19, 23
小嶋	文	コジマ	アヤ		24
小嶋	理江	コジマ	マサエ		24
駒田	淑久	コマダ	トシヒサ		19
近藤	さくら	コンドウ	サクラ		22
紺野	剛史	コンノ	タケシ		17, 18
権野	めぐみ	ゴンノ	メグミ		16, 22, 24

【サ】

阪本	麻郁	サカモト	マヤ		24
佐々木	史之	ササキ	フミユキ		22
佐々木	美智子	ササキ	ミチコ		16, 17
佐野	綾子	サノ	アヤコ		18

【シ】

設楽	一碩	シダラ	カズヒロ		17, 18
篠原	一光	シノハラ	カズミツ		24
島崎	敢	シマザキ	カン		24
下條	朝也	シモジョウ	アサヤ		18
新里	知佳野	シンザト	チカノ		21

【ス】

杉本	たまき	スギモト	タマキ		20
杉山	聡一	スギヤマ	ソウイチ		19

【タ】

太子	のぞみ	タイシ	ノゾミ		18
大本	浩司	ダイモト	ヒロシ		21
高石	光一	タカイシ	コウイチ		17
高橋	明子	タカハシ	アキコ		21
高橋	靖知	タカハシ	セイチ		20
高橋	正樹	タカハシ	マサキ		19
竹内	倫和	タケウチ	トモカズ		25
多田	昌裕	タダ	マサヒロ		24
田中	真介	タナカ	シンスケ		16, 17
田中	共子	タナカ	トモコ		23
田中	英明	タナカ	ヒデアキ		17, 19
田中	未来	タナカ	ミク		19
田中	瑞樹	タナカ	ミズキ		20
田中	亮三	タナカ	リョウゾウ		24
谷口	穂高	タニグチ	ホタカ		18
種市	康太郎	タネイチ	コウタロウ		19
太幡	直也	タバタ	ナオヤ		24
玉井	航太	タマイ	コウタ		20
田宮	憲	タミヤ	ケン		19, 20, 22

【チ】

チヨルチャワリットカノパン		20
---------------	-------	----

【テ】

寺田 盛紀 テラダ モリキ		21
---------------	-------	----

【ト】

土居 正人 トイ マサト		19
時田 学 トキタ ガク		17, 19, 22, 24
徳岡 大 トクオカ マサル		24

【ナ】

永井 正則 ナガイ マサノリ		19
長尾 早江子 ナガオ サエコ		20
中谷 智美 ナカタニ トモミ		17, 23
中野 祥子 ナカノ サチコ		23
中村 早希 ナカムラ サキ		21
中山 隼登 ナカヤマ ハヤト		19
名雪 しげみ ナユキ シゲミ		19
成尾 恒一郎 ナルオ コウイチロウ		23

【ニ】

西堀 まゆ ニシボリ マユ		19
---------------	-------	----

【ノ】

能渡 綾菜 ノト アヤナ		22
能渡 真澄 ノト マスミ		22

【ハ】

林 雅大 ハヤシ マサヒロ		24
林田 りか ハヤシダ リカ		17

【ヒ】

日高 舞子 ヒダカ マイコ		20
日向野 智子 ヒュウガノ トモコ		23

【フ】

福井 義一 フクイ ヨシカズ		17, 23
福田 佳織 フクダ カオリ		22
藤田 主一 フジタ シュイチ		17, 18, 21, 22, 25

古澤	伸晃	フルサワ	ノブアキ		21
古屋	健	フルヤ	タケシ		23

【ホ】

坊	隆史	ボウ	タカシ		17
堀	洋元	ホリ	ヒロモト		19

【マ】

前田	隆子	マエダ	タカコ		20
巻田	晴香	マキタ	ハルカ		18
増田	奈央子	マスダ	ナオコ		24
松尾	智晶	マツオ	チアキ		21

【ミ】

三品	誠	ミシナ	マコト		21
三保	紀裕	ミホ	ノリヒロ		21
三宅	沙侑美	ミヤケ	サユミ		23
宮里	翔太	ミヤザト	ショウタ		19
宮下	達哉	ミヤシタ	タツヤ		19
宮本	圭子	ミヤモト	ケイコ		20

【モ】

望月	聡	モチヅキ	サトシ		22
本原	琴美	モトハラ	コトミ		17
百田	尚史	モモタ	ナオヒト		21
森泉	慎吾	モリイズミ	シンゴ		21
森下	葉子	モリシタ	ヨウコ		22
森田	英嵩	モリタ	ヒデタカ		21
森本	康太郎	モリモト	コウタロウ		19
森脇	保彦	モリワキ	ヤスヒコ		25

【ヤ】

八木沢	誠	ヤギサワ	マコト		21
安井	亮太	ヤスイ	リョウタ		18
山田	勝也	ヤマダ	カツヤ		23
山野	洋一	ヤマノ	ヨウイチ		23
山村	豊	ヤマムラ	ユタカ		19, 20
山本	勝則	ヤマモト	カツノリ		19
山本	ちさと	ヤマモト	チサト		22

【ヨ】

楊	帆	ヨウ	ホ		20
吉岡	隆宏	ヨシオカ	タカヒロ		18
吉田	悟	ヨシダ	サトル		23
米澤	隆史	ヨネザワ	タカフミ		21

【レ】

蓮花	一己	レンゲ	カズミ		24
----	----	-----	-----	-------	----

【ワ】

脇水	俊行	ワキミズ	トシユキ		21
和田	一成	ワダ	カズシゲ		21
和田	万紀	ワダ	マキ		19
渡辺	伸子	ワタナベ	ノブコ		23
渡辺	めぐみ	ワタナベ	メグミ		24

氏名索引(教育発表)

安藤 楓		29	高山莉々子		28
入江拓海		31	瀧本斎葵		28
内野沙良		26	中島日菜		29
大溝優衣		26	野村風翔		26
小高敦生		27	萩原陶冶		29
笠原志希		29	廣瀬佑衣		31
川井萌香		28	福井匠流		25
河内麻里		28	藤生伊吹		29
金 世衡		27	丸野 祐		26
齊野平 海		30	山崎裕巳		30
菅谷 夢		26	山澤芽生		27
高梨遥名		26	山下嘉の子		28
高山柊太		27	吉田圭汰		26

指導教授 井上裕珠(日本大学)
 来田宣幸(京都工芸繊維大学)
 幸田仁志(京都工芸繊維大学)
 時田 学(日本大学)
 山村 豊(桜美林大学)
 連名者 小菅英恵(交通事故総合分析センター)

(敬称略)

日本応用心理学会第92 回大会

賛助団体等ご芳名

本大会を開催するにあたり、以下のとおり、諸団体・企業の皆さまからご協賛および多大なご支援を賜りました。深く感謝し、御礼申し上げます。

一般財団法人 化学及血清療法研究所

学校法人銀杏学園 熊本保健科学大学

株式会社 N サイエンス

株式会社 北大路書房

株式会社 九州神陵文庫

株式会社 クロス・マーケティング

株式会社 三京房

KM バイオロジクス株式会社

熊本県医療法人協会看護部長会

弘栄印刷株式会社

明屋書店 金龍堂

福村出版株式会社

(敬称略／五十音順)

2026 年 8 月吉日

日本応用心理学会第92 回大会
委員長 多久島寛孝

日本応用心理学会第92回大会委員会

(順不同)

【大会事務局】

委員長 多久島 寛孝 (熊本保健科学大学 保健科学部)
事務局長 角 マリ子 (熊本保健科学大学 保健科学部)

【大会実行委員】

岩村 純子 (熊本保健科学大学 学生相談・修学サポートセンター)
松本 佳代 (熊本保健科学大学 保健科学部)
前原 美貴子 (熊本保健科学大学 保健科学部)

【大会委員】

岡 順子 (熊本保健科学大学 公衆衛生看護学専攻科)
井崎 基博 (熊本保健科学大学 保健科学部)
水本 豪 (熊本保健科学大学 保健科学部)
久松 美佐子 (熊本保健科学大学 保健科学部)
村上 美華 (熊本保健科学大学 保健科学部)
荒木 善光 (熊本保健科学大学 公衆衛生看護学専攻科)
磯野 さよ子 (熊本保健科学大学 保健科学部)
江上 史子 (熊本保健科学大学 保健科学部)
川本 紀子 (熊本保健科学大学 保健科学部)
佐藤 公美 (熊本保健科学大学 保健科学部)
澤崎 美香 (熊本保健科学大学 保健科学部)
田口 邦子 (熊本保健科学大学 保健科学部)
松尾 朗 (熊本保健科学大学 保健科学部)
山鹿 敏臣 (熊本保健科学大学 保健科学部)

【大会アドバイザー】

軽部 幸浩 (東京富士大学 経営学部)

【大会顧問】

山本 勝則 (札幌保健医療大学 保健医療学部)

日本応用心理学会第92回大会プログラム

発行日：2026年8月20日

発行者：日本応用心理学会

第92回大会委員長 多久島寛孝

861-5598

熊本県熊本市北区和泉町 325

熊本保健科学大学



kimi mirai bio キミのミライをバイオの力で

今のキミの病気を、怪我を、ワクチンは治さない。

ワクチンは、キミの体の中でひっそりと、

1年後、5年後、もっと未来に

出会うかも知れない病気と戦うための準備をする。

そう、いつだってワクチンが考えているのはキミの未来。

健康にアイデアを

kmb

KMバイオロジクス株式会社

北大路書房

〒603-8303

京都市北区紫野十二坊町12-8

☎ 075-431-0361 FAX 075-431-9393

<https://www.kitaohji.com/> (価格税込)

アドルフ・ヒトラーのプロファイリング

ーアメリカはどのように独裁者を描いたのかー OSS
監修 W. C. ランガー著 越智啓太, 新岡陽光編訳/
解説 A5・368頁・定価3080円 1943年にCIAの前身
のOSSが作成した機密文書を全訳し現代の犯罪心理学
者たちが解説。ヒトラーの最後を見事に予言するなど、
プロファイリングの本質を捉えている。心理学と歴史
の両面白さを味わえる1冊。

看護・福祉・心と脳の生涯発達論

富永大介著 A5・272頁・定価2970円 対人援助職を
目指す人に向けて、胎児期から老年期までの発達を
「心」と「脳」の両面から統合的に描き出す。発達心理
学と神経心理学の知見を融合し、各発達段階を「心の
発達」「脳の発達」「心と脳の関係」という3つの視点
で整理。老年期の心身の問題と生き方、発達多様性
について手厚く解説。

心理学は行動から何を語るか

福田実奈編著 高砂美樹, 丹野貴行, 澤幸祐, 松井大,
鮫島和行, 武藤拓之, 清水裕士, 森元良太, 武藤崇,
近藤鮎子, 八重樫勇介著 A5・予価4620円 2026年9
月発売予定 心理学は行動をどう捉え、何を語り、語
るのか。方法論や哲学の観点から行動主義や心理学の
各領域、現場実践について考察し、「行動」を通して心
理学の営みを今再び問い直す。

スポーツにおける マインドフルネスとアクセプタンス

ープレッシャー下でパフォーマンスを発揮するためにー
K. ヘンリクセン, J. ハンセン, C. H. ラーセン編
井上和哉, 栗林千聡監訳 A5・336頁・定価4620円
スポーツに伴う不安や緊張のなかで、本来のパフォー
マンスをどうすれば発揮できるか。マインドフルネス
とアクセプタンスに基づくプロセスと取り組み方を豊
富な実践例と共に紹介。

ドムヤンの学習と行動の原理 [原著第7版]

マイケル・ドムヤン著/漆原宏次, 坂野雄二監訳 定価7920円

人はいかに学ぶのか

全米科学・工学アカデミー編/外田雄代達、一柳啓紀, 坂本龍史監訳 定価4620円

ディスカバリー社会心理学

太幅直也, 上原俊介編著 定価2860円

表情の科学

ホセ・M・フェルナンデス＝ドス他編/難波修史監訳 定価8800円

非認知能力の発達

小塩真司編著 定価2970円

心理学・教育学研究のための効果量入門

中村大輝著 定価3520円

未来思考の心理学

ガリエル・エディンゲン他編/佐藤謙二, 日建隆之, 小宮あすか, 梶見 孝監訳 定価11000円

イメージの(ない)世界に生きるアヴァンタジア

高橋純一, 杉村伸一郎, 行場次郎編著 定価2970円

経験サンプリング法入門

ナイアル・ボルジャー, ジャン＝フィリップ・ロソノ著/尾崎由佳訳 定価3850円

一般社団法人日本心理学諸学会連合 認定

第23回 心理学検定

試験会場でコンピュータを用いて解答するCBT形式の試験です。
全国47都道府県にある試験会場からご都合の良い試験会場・日時を選ぶことができます。

試験期間

2026 7月15日 水 ~ 8月31日 月



心理学の基礎知識を身につける。
実力を試す。

ヒアルロン酸よりも高い保水能力と保湿効果 Nヴェール

ヒアルロン酸よりも高い
保水能力と保湿効果

Nヴェール

医療・介護従事者、飲食業 美容師、研究職、農業など
特に 手荒れに悩むことが多い職種 の方々に好評です。

製品
特徴

オイルフリーでベタつかない
天然高分子 サクラン®配合
防腐剤無添加・無着色・無香料

刺激物から肌を護る 耐水性のある保護膜をつくる

HAND
BARRIER
LOTION

NVEIL



ハンドバリア
ローション
Nヴェール
内容量 150ml

ご注文・見積依頼・お問い合わせは



株式会社 Nサイエンス TEL.096-288-6751 FAX.096-288-6752
NEXT FUTURE NEXT SCIENCE E-mail:info@n-science.co.jp <https://www.n-science.co.jp/>



新製品

KWCST 慶應版ウィスコンシンカード分類検査 解析支援サービス

【監修】 鹿島 晴雄 【編著】 鹿島 晴雄 加藤 元一郎

習熟を要する本検査の円滑な施行を強力にサポートする Web アプリです。

随時変わる教示内容, 分類カテゴリーの変換, 分類カテゴリーの言語化,

観察事項記録, 評価値算出に対応しています。



MMPI-3 日本版

Y. S. Ben-Porath A. Tellegen

MMPI-3 日本版研究会

MMPI ミネソタ多面的人格目録

S. R. Hathaway J. C. McKinley

MMPI 新日本版研究会

CMI 健康調査表

K. Brodman A. J. Erdmann H. G. Wolff

金久 卓也 深町 建 野添 新一

SDS うつ性自己評価尺度

W. W. K. Zung

福田 一彦 小林 重雄

STAI 状態・特性不安検査 (Form X)

C. D. Spielberger

水口 公信 下仲 順子 中里 克治

BAQ 日本版 Buss-Perry 攻撃性質問紙

A. H. Buss M. Perry

HP2000 研究会

TAS-20 トロント・アレキシサイミア尺度

R. M. Bagby J. D. A. Parker G. J. Taylor

小牧 元 前田 基成

P-F スタディ (成人・青年・学生・児童)

S. Rosenzweig

【代表】 林 勝造 秦 一士

DSRS-C バールソン児童用抑うつ性尺度

P. Birlleson

村田 豊久 神本 亜紀 森 陽二郎 竹田 祥子

SCAS スペンス児童用不安尺度

S. H. Spence

石川 信一

SASS-J 自記式社会適応度評価尺度

M. Bosc A. Dubini V. Polin

中村 純 樋口 輝彦

MAS・CMAS 顕在性不安尺度

J. A. Taylor 阿部 満洲 高石 昇

A. Castaneda 坂本 龍生

LSAS-J リーボヴィッツ社交不安尺度

M. R. Liebowitz

朝倉 聡

AQ 日本語版 自閉症スペクトラム指数

S. Baron-Cohen S. Wheelwright

若林 明雄

神経心理学的検査・知能検査

BGT ベンダー・ゲシュタルト・テスト

L. Bender 高橋 省己

コース立方体組み合わせテスト

S. C. Kohs 大脇 義一

BVRT ベントンの視覚記憶検査

A. L. Benton 高橋 剛夫

DAM グッドイナフ人物画知能検査

F. L. Goodenough 小林 重雄 伊藤 健次



Kokolog / こころぐ Web アプリによる専門家向け心理検査サービス

MMPI-3 日本版解釈支援システム (解釈文自動出力)

P-F スタディ解析支援サービス STAI 状態・特性不安検査 web サービス

ベントンの視覚記憶検査採点 web サービス (詳細版・簡易版)

専用ページ



<https://kokolog.info>

学術調査ならクロス・マーケティング

研究論文でのリサーチ実績、年間1000件超。
倫理審査もお手伝いいたします。



クロス・マーケティングの展示ブースへお立ち寄りいただいた方 限定

❖ ブースご来場特典 ❖

特典
1

無料配布

学術調査の基本とやり方がわかる

実践ガイド



特典
2

限定割引

学術調査 **基本料金半額** もしくは
対象者リクルーティング **30% OFF**



特典
3

プレゼント

オリジナルノベルティ

※数に限りがございます。



※弊社ブースにて名刺交換をさせていただいたお客様限定となります。



詳細は 当日のクロス・マーケティング展示ブースまで

お問合せはこちらから 株式会社クロス・マーケティング

☎ 0120-198-022 ✉ academic@cross-m.co.jp

学術調査
特設サイトへは
こちらから



<https://www.cross-m.co.jp/industries/academic-conference>



「子ども点描」
子どものこころのカタチ
子育て・子育て・親育ちの心理学
河合優年 [著]
四六判／並製／328頁 ●定価 2,200円

産経新聞連載のコラムが一冊に。子どもの行動の背景にある心の動きをやさしく語り、子どもの今を描き出す。



環境移行期の時間的展望の発達における個人差
児童期・青年期における3つの縦断調査データの分析
都筑学 [著]
A5判／並製／122頁 ●定価 3,300円

子どもの発達に大きく影響する環境移行期における時間的展望の個人差を3つの縦断調査から明らかにする。



学力テストが映像で出される時代の心理学
村野井均 [著]
四六判／並製／208頁 ●定価 3,080円

子どもは本当に映像を正確に理解しているだろうか。学校教育のデジタル化に不可欠な映像理解への対応を提言する。



新・小学生の生活とこころの発達
「子どもらしさ」の心理学
心理科学研究会 [編]
A5判／並製／292頁 ●定価 3,080円

小学生を取り巻く環境と発達を正面から取り上げ好評を博した初版を、昨今の急激な社会の変化に即して改訂。



心理職の「こころ」を耕すワーク・ディスカッション
安心感に守られた対話で考える力を育む
長谷綾子、若佐美奈子、橋本貴裕 [編著]
A5判／並製／190頁 ●定価 3,300円

感情労働により疲弊しないよう心理職の心の素地を養う、対人援助職の教育プログラムWDの導入可能性を探る。



詳解 ラカン『精神分析の四基本概念』
無意識・反復・転移・欲動のために
荒谷大輔、小長野航太、桑田光平、池松辰男 [著]
A5判／上製／320頁 ●定価 6,600円

ラカン理論の入門書と呼ばれる最重要セミナーを原文に沿って読み解く。相互参照やキーワード索引も充実。



子どもを傷つけてしまう親によりそう
アタッチメントと適応の動的・成熟モデルと臨床事例
バトリシア・マッキンゼー・クリテンデン [著]
三上謙一、廣瀬たい子 [訳]
A5判／並製／586頁 ●定価 7,920円

動的・成熟モデル理論とその実際の適用を豊富な臨床事例を通じて示し、脆弱な家族の統合的支援につなげる。



施設で暮らす子どもの生活と育ちを支えるケアワーカー
子どものケアとセルフケアのために
村松健司、坪井裕子 [編著]
A5判／並製／150頁 ●定価 2,420円

社会的養護施設で暮らす子どもたちを支えるケアワーカーに向けて、子どものケアとセルフケアのヒントを1冊に。



組織の体験学習とAIアプローチ (Appreciative Inquiry)
アプリシエイティブな「まなざし」と「問いかけ」で組織が変わる
垣内芳文、津村俊充 [著]
A5判／並製／290頁 ●定価 3,190円

人や組織が理想的な変容を実現するために、意図的に関与し働きかけるAIアプローチと簡単なワークを紹介。



発達障害の心理学 (増補改訂版)
特別支援教育を支えるエビデンス
北洋輔、平田正吾 [編著]
A5判／並製／232頁 ●定価 3,080円

発達障害研究は自分と異なる他者理解の手がかりともなる。新たな2章を含め基礎研究と実践をつなぐ増補改訂版。授業の参考図書としてもおすすめの1冊。



施設内高齢者虐待の研究
ケアを受ける側と与える側における「自立と依存」の関係性からの検討
大村壮 [著]
A5判／上製／264頁 ●定価 6,050円

ケア労働者と要介護高齢者への調査に基づく、施設内高齢者虐待への心理学からの原因解明と防止モデルの提言。



「共感」の援助関係論
終末期医療現場におけるソーシャルワークの現象学的アプローチ
衣笠一茂 [著]
A5判／上製／200頁 ●定価 4,180円

終末期患者の事例を現象学的に分析し、間主観的共感に基づくソーシャルワークの援助関係の原理を再構築。



欺瞞と嘘発見の科学入門
クリス・N・H・ストリート [著]
太幡直也、佐藤拓、村井潤一郎、田口恵也 [訳]
A5判／並製／322頁 ●定価 5,940円

嘘に関する古典的および最新の心理学研究と、嘘検知を理解するための理論的アプローチについて論じる。



状況の心理学ハンドブック (仮)
ジョン・F・ラウスマン、ライン・A・シャーマン、デイビッド・C・ファンダー [編]
堀毛一也、渡邊芳之、松田英子、小塩真司、山形伸二 [監訳]
B5判／上製／750頁 (予) ●予価 16,500円

新たな研究領域「状況研究」。第一線で活躍する各研究分野の専門家が状況の心理学的側面に関する最先端の知識を体系的にまとめた研究者必読の基本図書。

For

未来を創造する研究者を
化血研は応援します！

researchers creating the future



化血研
THE CHEMO-GERO-THERAPEUTIC RESEARCH INSTITUTE

一般財団法人 化学及血清療法研究所

〒860-0803 熊本県熊本市中央区新市街8-7 TERRACE87 2C

tel:096-297-2152 fax:096-300-3156 <https://www.kaketsuken.org>



「生きる」をひらく かけがえのない一人に

今、日本の保健医療が大きく変わろうとしています。

加速する少子高齢化、働き方のスタイルや暮らしの多様化、
日々進化しつづける医療技術、そして、高まる地域医療の重要性。

そんな変化する時代に求められる医療人になるために。

専門的な「知識」と「技術」を究め、「思慮」深さと「仁愛」の心で他者に接し、
生涯を通して成長しつづける。
それが、私たちが育成する医療人です。

そのために
自ら考え、自ら行動する深い学びの機会を多く提供し、
学生一人ひとりの個性を尊重しながら、常に伴走して成長を高めていきます。

地域に愛され、日本の保健医療分野をリードする大学を目指して。

「生きる」をひらく、かけがえのない一人を、
これからも、しっかりと、じっくりと育んでいきます。



熊本保健科学大学
Kumamoto Health Science University

TEL.096-275-2111

〒861-5598 熊本市北区和泉町325

熊保大

検索

保健科学部	● 医学検査学科 ● 看護学科 ● リハビリテーション学科 [理学療法学専攻/作業療法学専攻/言語聴覚学専攻]
大学院	● 保健科学研究科 [臨床検査領域/看護領域/リハビリテーション領域]
専攻科	● 公衆衛生看護学
別 科	● 助産
キャリア教育研修センター	● 認定看護師教育課程 [脳卒中看護分野/認知症看護分野] ● 特定行為研修課程 ● 細胞検査士養成コース